

登録コード	TSX25500	開講年度	2026				
授業科目	建築設備設計インターンシップ				担当教員	高村 秀紀 他	
英文授業名	Building Facilities Design Internship				副担当	南 健斗・中谷 岳史	
単位数	4	講義期間	不定期	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	
講義室			授業形態	演習	備考		
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標	【授業で得られる「学位授与の方針」要素】				⇔	【授業の達成目標】	
	2 4TSカリ, 2 3TSカリ						
	【研究科共通】環境調和社会, 知識基盤社会を多様に支える高度な専門知識と実践的技術力				⇔	建築設備設計の基礎を習得する。	
	2 6TSカリ, 2 5TSカリ, 2 4TSカリ, 2 3TSカリ						
	【専攻】工学分野の研究者・技術者として科学・技術を発展させるための幅広い見識と健全な倫理観				⇔	建築設備に関連した電気、機械、熱に関する幅広い知識を習得する。	
	【専攻】環境調和社会, 知識基盤社会を多様に支える工学分野の高度な専門知識と実践的技術力				⇔	建築設備に関する専門知識を習得する。	
	【専攻】さまざまな課題に対処できる高い情報収集・分析能力とグローバルな情報発信能力				⇔	インターンシップを通して課題解決能力を養う。	
	【専攻】専門知識に基づいて自らの思考や妥当性を論理的に説明できる批判的思考力				⇔	建築設備の省エネに関して、学んだことに基づき自らの考えを示す能力を養う。	
(2)授業の概要	建築設計事務所等において、建築士や建築設備士から指導を受け、学外で技術を実践していく上で社会人としての最低限の知識を習得する。更に設備設計事務所及びその作業内容の具体的な内容を実感として学びとる。具体的には設計事務所の役割、倫理観、法対応、設備設計図面の作り方、設計の進展のさせ方等である。						
(3)授業計画	インターンシップ担当事務所に下記の内容の中を習得できるように関連作業への従事をお願いする。①設備設計事務所と法的対応を習得する上で確認申請作業の書類作り②設備設計事務所の図面の作成と進展を習得する上で、基本設計図書の読み取りに必要な図版、文章、写真、模型、及びそれらのレイアウト、冊子作り。③設備設計事務所の図面の作成と進展を習得する上で、基本設計図の読み取り。④設備設計事務所の図面の作成と進展を習得する上で、実施設計図の作成。⑤設備設計事務所の図面の作成と進展を習得する上で、特記仕様書の作成。⑥設備設計図面と、基本設計図書相互の関連性の確認。						
(4)成績評価の方法	事務所の担当者から仕事内容および完成した成果品を提示してもらい、担当教員がその作業状態を定性的（制作物の適切性、完成度）、定量的（制作速度、制作量、出欠）に判断し評価する。						
(5)成績評価の基準	担当者から提示された課題の最低限を実施した場合「水準にある」、やや難易度の高い専門的な課題を実施した場合「やや上にある」、難易度の高い専門的な課題を実施した場合「かなり上にある」、自ら提案して担当者と相談しながら設定した課題を実施した場合「卓越している」						
(6)事前事後学習の内容	160時間の実習を行う						
(7)履修上の注意	特になし						
(8)質問,相談への対応	メール（takam@shinshu-u.ac.jp）で対応します。						
(9)その他							
【教科書】	特になし。						
【参考書】	特になし。						